

質疑応答の状況（要旨）

質 問 ・ 意 見	回 答
<p>抽出案件について</p> <p>1 遠田池改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> 完全週休2日制モデル工事（受注者希望型）とは。 工事を2期に分けて施工しても問題はないのか。 入札参加資格における営業所の区域はどのように設定したのか。 <p>2 ゼロ県債(防災・安全社会資本整備交付金)広域河川 綾川改修工事(城山橋上部工)</p> <ul style="list-style-type: none"> 城山橋下部工が施工中となっており、この工事が終わらなければ本案件が進まないと思うが、終わっているのか。 <p>3 農業試験場府中果樹研究所本館その他機械設備工事</p> <ul style="list-style-type: none"> 応札者が8者あるが、何故、どの入札参加者も入札価格がほとんど変わらないのか。 本工事は総合評価方式の結果、入札価格の一番高い業者が落札者となっているが、技術評価の見直しを検討しなくてよいのか。 <p>4 ゼロ県債 国道377号外42線 道路維持修繕工事(道路巡視補修工)</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路維持修繕工事（道路巡視補修工）とその他の道路維持修繕工事との棲み分けはどうなっているのか。 道路巡視中に発見した大掛かりな補修工事については、別の工事に対応するということか。 当該案件では相当数の辞退が出ている。また、入札金が高かった4者については予定価格を入札価格としている。これらの原因は何か。 <p>5 高河海維第4号 ゼロ県債 春日川外9河川 河川海岸維持修繕工事(河川維持修繕)</p> <ul style="list-style-type: none"> どの入札業者も入札価格が予定価格より大幅に安価である理由は、 契約後に出勤回数が想定より増えた場合、想定の上乗率以上出勤したとしても追加で費用が支給されるのか。また、出勤回数が低い場合、契約金額のまま支給されるのか。 本年4月1日から最低制限価格を設定する工事の範囲が変更されたが、仮に本事案の指名競争入札執行通知が4月1日以降に行われた場合、当該業者は落札できるか。 	<ul style="list-style-type: none"> 受注者の希望により週休2日の取組みを実施する工事。なお、本工事について希望はなかった。 2期工事に着手する時は1期工事と整合性をとるとともに十分な施工監督を行い支障が出ないようにする。 工事に対する地理的条件や設計金額に応じて、営業所の区域は設定している。 <p>・ 城山橋下部工については、先月工事を完了した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本県では予定価格を公表しており、今回は各社で積算した必要額の結果と思われる。 本県ではダンピング対策等のため平成18年から総合評価方式を採用しており、価格だけではなく技術評価を踏まえ、総合的に落札者を決定している。なお、技術評価の考え方については毎年見直し等研究を行っており、今後も続けていく予定である。 <ul style="list-style-type: none"> 道路巡視補修工は主な目的が道路の巡視であり、その他の道路維持修繕工事と異なっている。 そのように対応している。 <ul style="list-style-type: none"> 当該道路巡視補修工は、ほぼ人件費のみの計上となっており、業者による工夫の余地が少ない。さらに、年間3名の作業員を必ず確保しなければならないというところが、辞退の原因につながっていると推測される。 <ul style="list-style-type: none"> 他の応札者には聞き取りできていないが、受注者に理由の聞き取りを行ったところ、当該工事を是非とも受注したかったとのことであった。なお、現在まで受注者が適切に緊急対応等を行っていることを確認している。 想定より出勤が増えた場合は増額対応している。ただし、毎月末に工事の進捗状況を確認しており、その進捗が想定より早い場合は、本工事の工期内であっても次の工事を発注するなど、過度な変更増とはならないようにしている。また、出勤回数が想定より低い場合は減額対応している。 本事案で最低制限価格を設定した場合、受注者の入札価格は最低制限価格を下回る価格となるため、落札者とはならない。